

教科名【国語】 科目名【古典B】 教科書【新編 古典B（大修館書店）】
 単位数【2】（前年より継続履修） 対象学年【3年 普通科】

学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

また、時代や社会によって大きく異なる生活様式を理解し、人々の持っていた価値観や作法などを知る。

学期	月	教材	時数	学習の内容（ねらい）
一学期	四月	オリエンテーション	1	1年間の学習計画について理解する。
	五月	【古文】 ・沙石集 児の飴食ひたること ・宇治拾遺物語	4	・説話における行動描写の特色を理解する。 ・登場人物の行動を的確に読み取り、話のおもしろさを理解する。
		十二月の「子」文字	4	
	六月	【漢文】 子罕弗受玉 不死之薬	6	・中国の逸話を読み、巧みな論理の展開による説得の技を理解する。 ・漢文訓読に習熟する。
	七月	先従隗始	8	・物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。 ・巧みな論理の展開による説得の技を理解する。
【古文】 ・枕草子 中納言参りたまひて 野分のまたの日こそ 大蔵卿ばかり 雪のいと高う降りたるを 〈参考〉香炉峰下、新たに山居をトし、草堂初めて成り、偶東壁に題す	・「枕草子」を読んで、宮廷生活の様子をとらえる。 ・文章の表現の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。 ・古典の内容を展開に即して的確に理解する。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。			

二 学 期	九月	【古文】 ・大鏡 道真左遷	10	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語を読み、人物の思想や感情を的確にとらえる。 ・登場人物の才能、行動、心情を作者がどのようにとらえているか読み取る。 ・文章の内容を構成に即して的確にとらえる。
	十月	競べ弓 鶯宿梅		
	十 一 月	【漢文】 桃夭 飲酒 〈参考〉草枕 子夜呉歌 石壕吏 雑説	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古体詩の名作を読み、その形式や表現について理解する。 ・繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 ・詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。
	十 二 月	【古文】 ・紫式部日記 和泉式部と清少納言 ・蜻蛉日記 町の小路の女	8	<ul style="list-style-type: none"> ・平安女流日記を読み、作者の心情を読み取る。 ・人物評でどのような点を評価・批評しているかまとめる。 ・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。
三 学 期	一月	【漢文】 劉備の死 諸葛亮の死	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「三国志」の物語に描かれた表現を読み味わう。 ・劉備と諸葛亮の交流を通して、さまざまな人間の生き方についての考えを深める。 ・三国の興亡について、世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ・古代中国を代表する思想書を読み、それぞれの考え方の特徴を知る。 ・道家の思想を理解する。 ・道家的な生き方と儒家的な生き方の違いについて考える。
	二月	〔自然に生きる〕 小国寡民 タオ—老子 渾沌 〈参考〉東西の思想	6	
		【古文】 ・発句でたどる『奥の細道』 ・去来抄 行く春を	3	

【1学期の評価方法】

中間考査・期末考査・豆テストの結果、ワークシートへの取り組み状況、課題学習における感想文・鑑賞文・問題意識・発表や話し合いの仕方・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度、姿勢を総合して評価する。

* 課題・提出物等

- ① 授業中に使用するプリントやワークシート
- ② 授業用のノート（予習・復習の分も含む）

【2学期の評価方法】

中間考査・期末考査・豆テストの結果、ワークシートへの取り組み状況、課題学習における感想文・鑑賞文・問題意識・発表や話し合いの仕方・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度、姿勢を総合して評価する。

* 課題・提出物等

- ① 授業中に使用するプリントやワークシート
- ② 授業用のノート（予習・復習の分も含む）

【3学期の評価方法】

期末考査・豆テストの結果、ワークシートへの取り組み状況、課題学習における感想文・鑑賞文・問題意識・発表や話し合いの仕方・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度、姿勢を総合して評価する。

* 課題・提出物等

- ① 授業中に使用するプリントやワークシート
- ② 授業用のノート（予習・復習の分も含む）

留意事項

- ① 発表、提出物、テストなどを通して、生徒一人一人の理解度を十分に把握し、アドバイスや学習の補助が適切にできるようにする。
- ② 辞書（漢和・古語）や国語便覧資料等を使って、自学する態度を養う。
- ③ 学習形態や教具等の工夫を通して、生徒の古典への興味関心を喚起する。